

グラントパーテーション®シリーズ

Fencewall WIDE

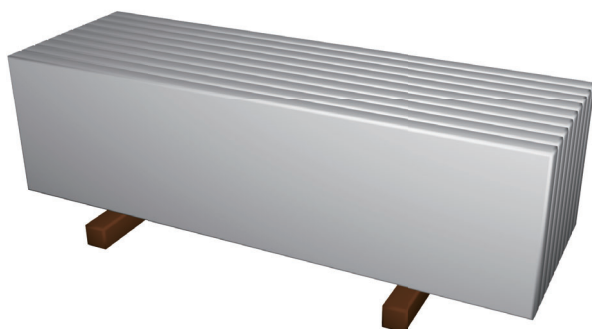
フェンスウォール® ワイド

取扱説明書

1. 輸送・保管時の注意事項
2. 施工方法
3. 施工図
 - 土圧が掛からない場合（柵板仕様）
 - 1 スパン＝2メートルの場合
 - 1 スパン＝1メートルの場合
 - 土留めとして使用する場合（耐圧板仕様）
 - 1 スパン＝2メートルの場合
 - 1 スパン＝1メートルの場合
4. 組立図・根固めコンクリート寸法表
5. 土留め施工について
5. 注意事項
6. 製品について

1. 輸送・保管時の注意事項

- ① 柵板（耐圧板）の輸送・保管の際は必ず**立てた状態**（※図1）にして下さい。



【図1 良い例】



図2 悪い例
（角材が無い場合でも割れます）

- ② カド欠け防止の為、図の様に角材を入れる。
- ③ 輸送時、図1の状態のまま動かないよう、ロープ等でトラックの荷台に固定する。
- ④ 保管時、図1の状態のまま倒れないよう、ロープで巻く等の措置をとる。

2. 施工方法

施工手順は以下の通り行ってください。



3. 施工図

土圧が掛からない場合

柵板仕様 1 スパン= 2 メートルの場合



柵板仕様 1 スパン= 1 メートルの場合



- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1895mm
- ※ 1メートルパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は耐圧板を使用して下さい。

土留めとして使用する場合

耐圧板仕様 1 スパン= 2 メートルの場合

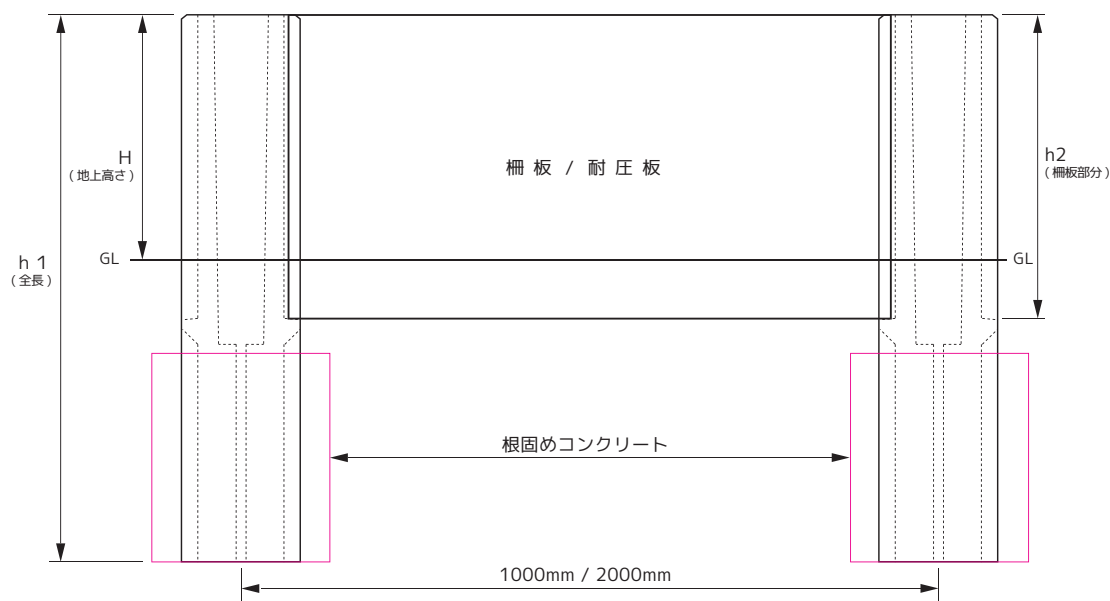


耐圧板仕様 1 スパン= 1 メートルの場合



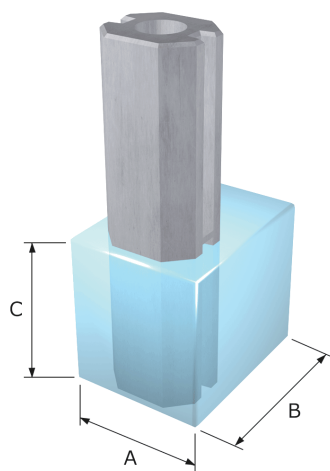
- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1840mm
- ※ 1メートルパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 840mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は耐圧板を使用して下さい。

4. 組立図・根固めコンクリート寸法表



↑ 組立図寸法表 (単位 mm)

	H(地上高さ)	h1 (全長)	h2 (柵板部分)	柵板組み合わせ
1番	～300	800	400	H400×1
2番	～700	1200	805	H400×2
3番	～1100	1600	1210	H400×3



← 根固めコンクリート寸法表 (単位 mm)

全高 (地上高)	A	B	C
～2500	310	400	350

※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた高さです。

5. 土留め施工について

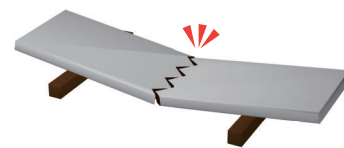
- ① 土留めとして施工する場合は
耐圧板を使用して下さい。
- ② より強固な土留めにする場合は
1 スパンを1メートルにして下さい。
- ③ 盛土側は右図の通り、土圧板の凸側です。



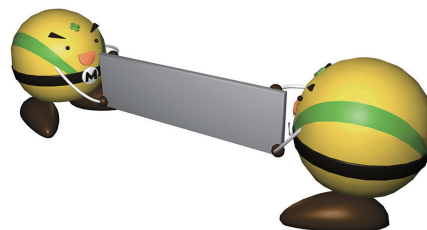
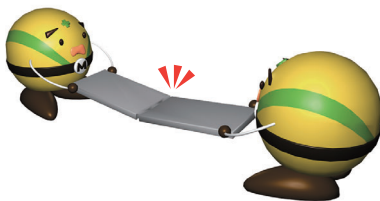
6. 施工時の注意事項

- ① 施工の時、**横置きは厳禁**です。

最後の一枚まで必ず**立てた状態**にして下さい。



- ② 持って移動する時、**横置きは厳禁**です。必ず**立てた状態**で運んで下さい。



- ③ 施工直後、**過度な転圧は厳禁**です。

土留めとして施工した場合、柱や柵板周辺に対するランマやプレートなど転圧機の使用は厳禁です。



- ④ 汚れた手袋での製品の取り扱いをしないで下さい。

製品にさわる時は、必ず綺麗な手袋に取り替えてから作業して下さい。



- ⑤ 製品に汚れが付いた場合は水洗いして下さい。又、それでも落ちない場合
コンクリート専用の洗浄剤を使用して下さい。（当社に在庫あり）



- ⑥ フェンス支柱穴にフェンス柱を固定する時、通常はモルタルを使用
しますが、急結材などの混和剤を使用する場合はご注意下さい。
膨張してフェンスウォール自体が破損する場合があります。



7. 製品について

フェンスウォール ワイド用 耐圧板にて横方向に走るクラック
（右図赤部分）が発生している製品がありますが、製造過程に
おいて出来てしまう沈下クラックです。

製品不良ではありませんのでご了承下さい。

